

第3章 地域の現状と課題

3-1 地域の概況

(1) 宗谷管内の地形・地勢

宗谷総合振興局管内は、北海道の北部にあり、利尻島・礼文島を含めた1市8町1村からなります。西は日本海、東はオホーツク海に面し、北は宗谷海峡を経てサハリンを望みます。南は天塩川により留萌管内と、宗谷丘陵・北見山地を境に上川管内と、南東は管内最北端の宗谷岬からオホーツク海沿岸を130km南下したところでオホーツク管内に接します。

広さは東西148km、南北100kmにおよび、面積4,625.70km²は北海道総面積の約5.5%を占め、京都府(4,612.20km²)にほぼ匹敵します。

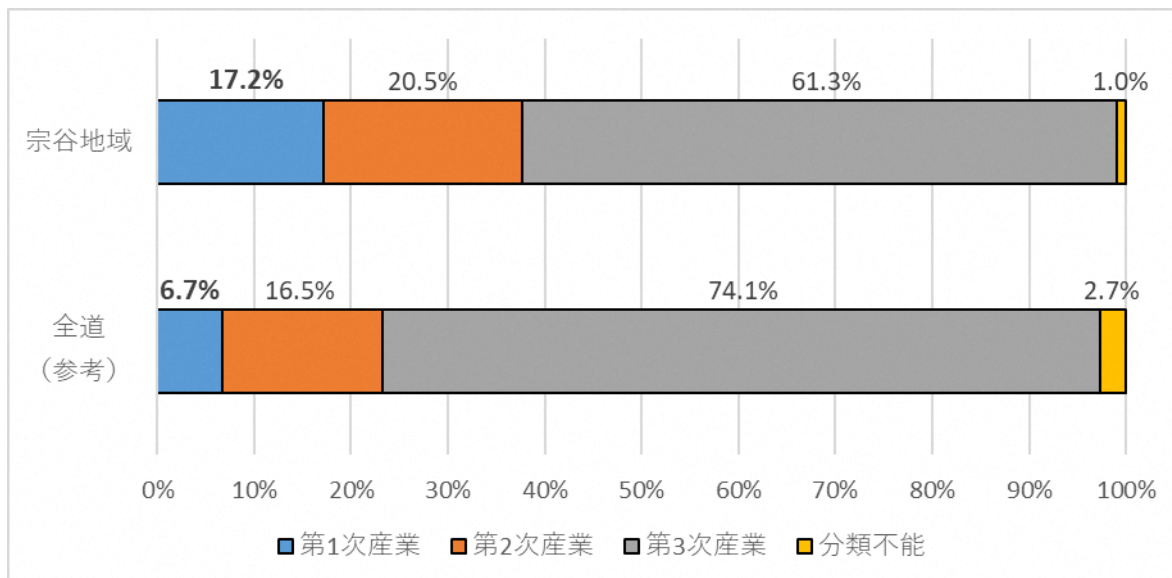
管内北部は、宗谷丘陵を中央に、西部には広大なサロベツ原野、東部にはクッチャロ湖を有する頓別平野が広がります。管内南部は山岳地が広く分布し、河川周辺のみで形成される平坦地がオホーツク海まで続いています。また、利尻島は利尻山(海拔1,721m)を中心としたほぼ円形の島で、礼文島は南北に細長い丘陵状の島です。



図3-1 宗谷管内図

(2) 産業構造

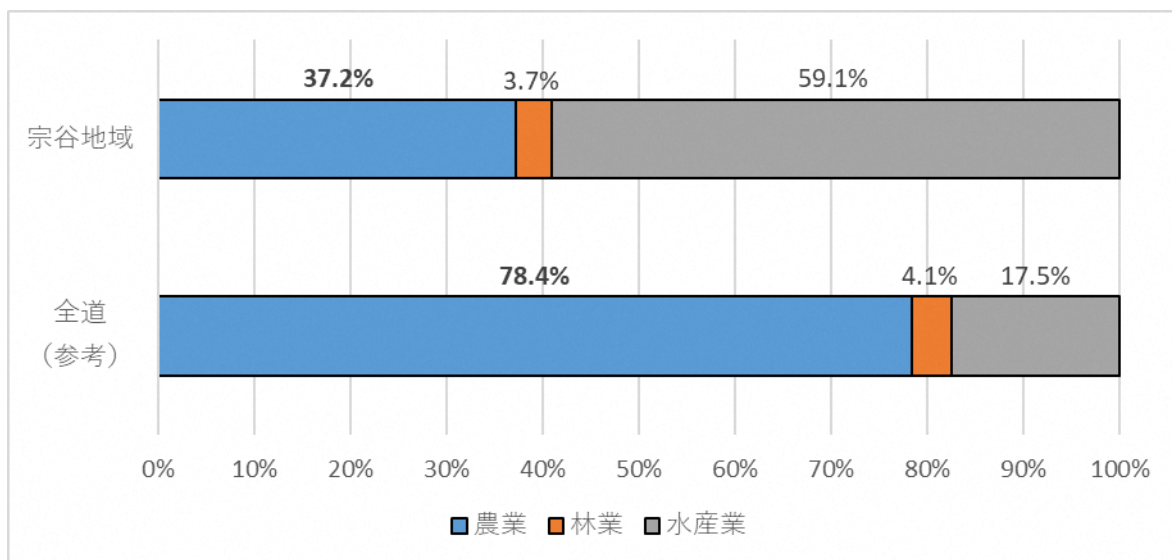
本地域では北海道全体と比較し、第1次産業（農林水産業）の従事者が多く、第1次産業の中でも農業、水産業が基幹産業となっています。



(出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」

(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>) をもとに作成)

図3-2 産業別就業者数



(出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」

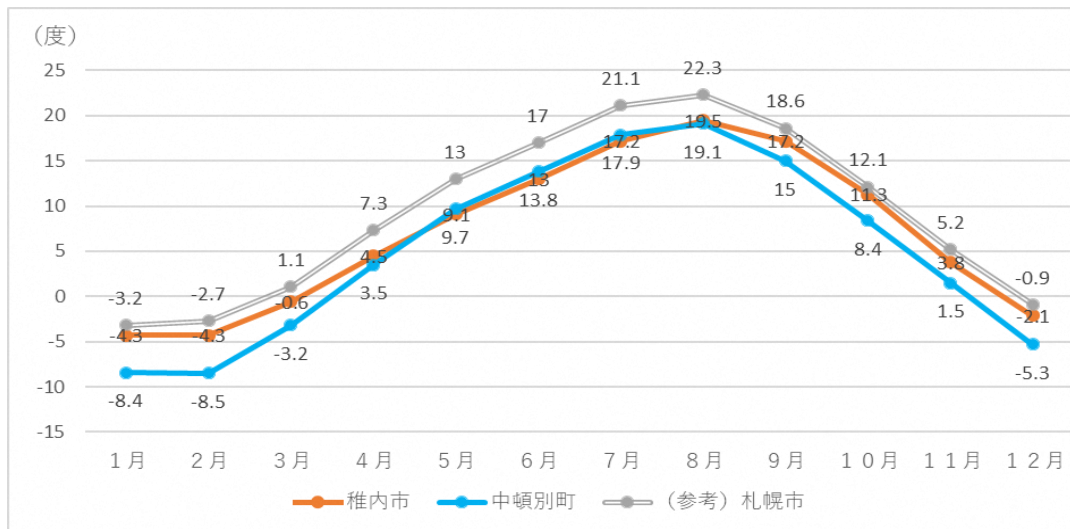
(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>) をもとに作成)

図3-3 第1次産業従事者数の内訳

(3) 気候・気温

本地域の気候は、日本海、オホーツク海に面する海洋性の気候と、山岳地帯及び河川地域の内陸気候に大別することができます。北海道の太平洋側等の地域に比べると夏期間の降水量は約 200～300mm と少ないですが、地形の影響等により短時間に雨量が多くなる地域もあります。

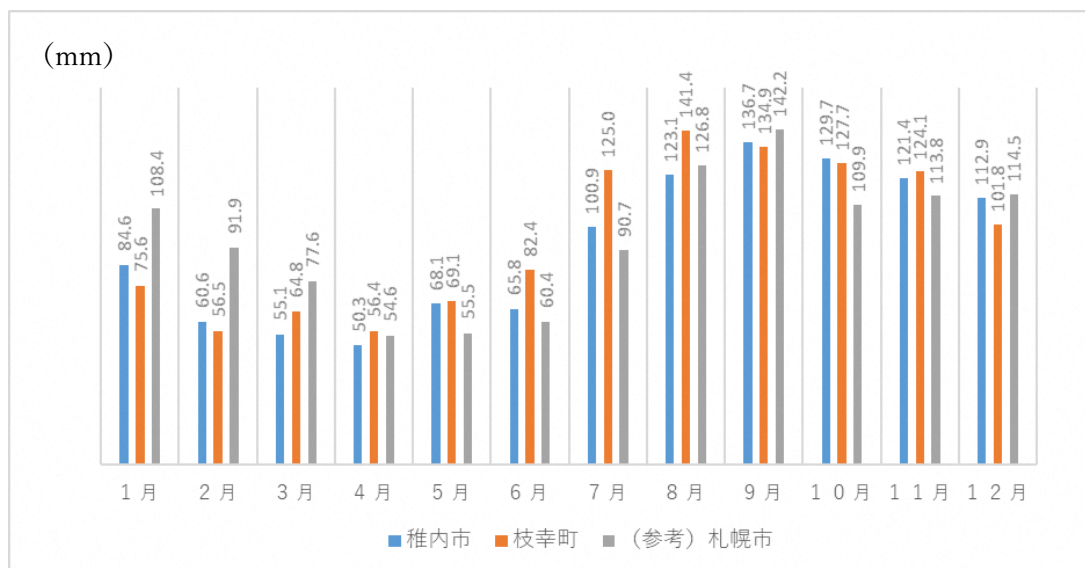
また、本地域は札幌市に比べ、1～3月は降水量が少なく、5月～7月は多くなっているのが特徴です。



(出典：国土交通省気象庁「過去の気象データ」

(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>) をもとに作成)

図 3-4 平均気温 (過去 30 年間 (1991-2020 年) 平均)



(出典：国土交通省気象庁「過去の気象データ」

(<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>) をもとに作成)

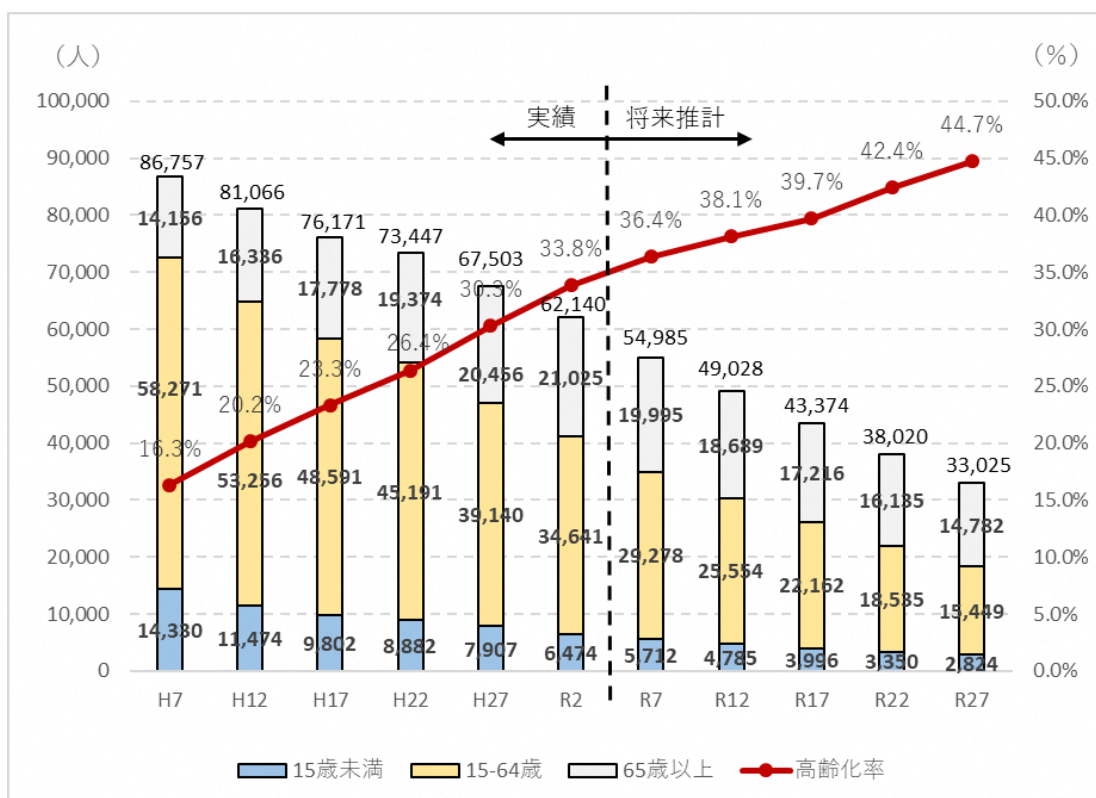
図 3-5 平均月間降水量 (過去 30 年間 (1991-2020 年) 平均)

3-2 地域の現状

(1) 人口・高齢化の推移

本地域の総人口（令和2（2020）年時点）は62,140人であり、平成22（2010）年と比較すると、減少率は15.4%となっており、今後もこうした傾向は続くと予測されています。

また、少子化や進学・就職を契機とした若年層の都市部への流出などに伴い、高齢化率は年々上昇し、令和2（2020）年時点で33.8%となっており、令和27（2045）年には44.7%まで上昇すると予測されています。



(出典：総務省統計局「令和2年国勢調査

(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>)

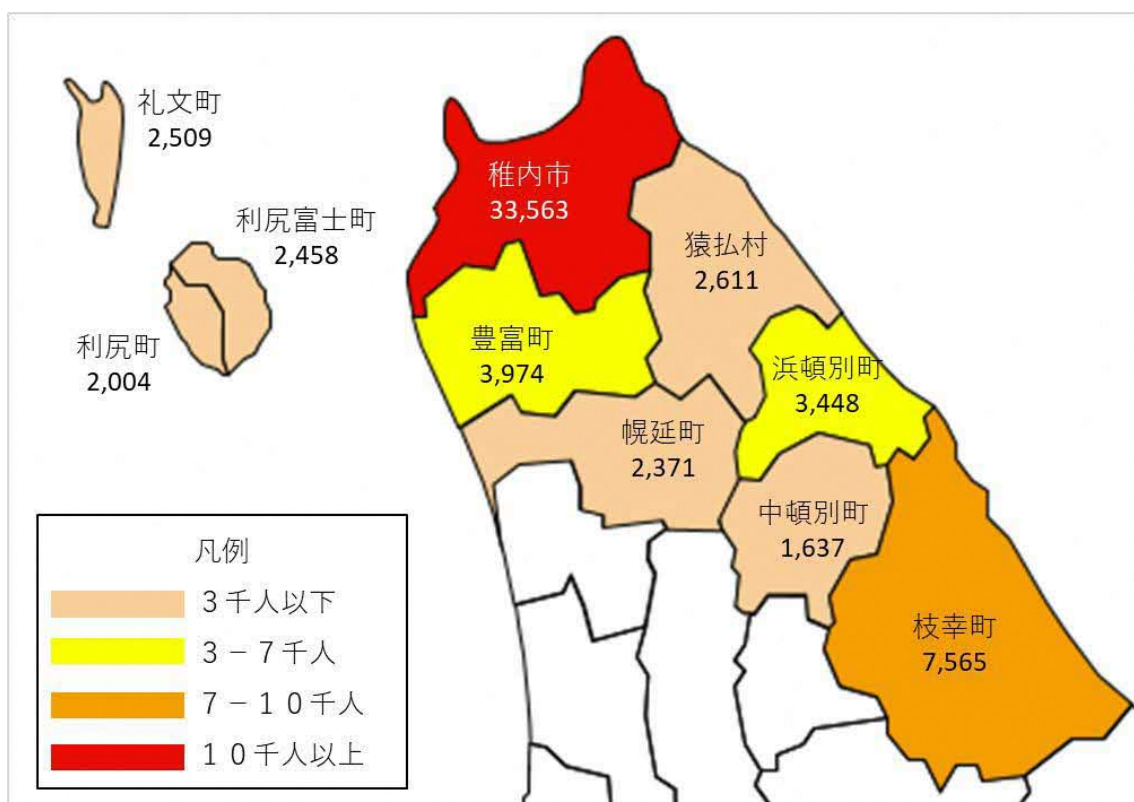
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

(<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp>) をもとに作成)

図3-6 宗谷地域全体の人口推移

(2) 人口の分布

本地域の総人口 62,140 人（令和 2（2020）年）のうち、地域中心都市である稚内市に 33,563 人と半数以上が集中し、南東部に位置する枝幸町が 7,565 人、残りの 8 町村は、4,000 人以下となっています。

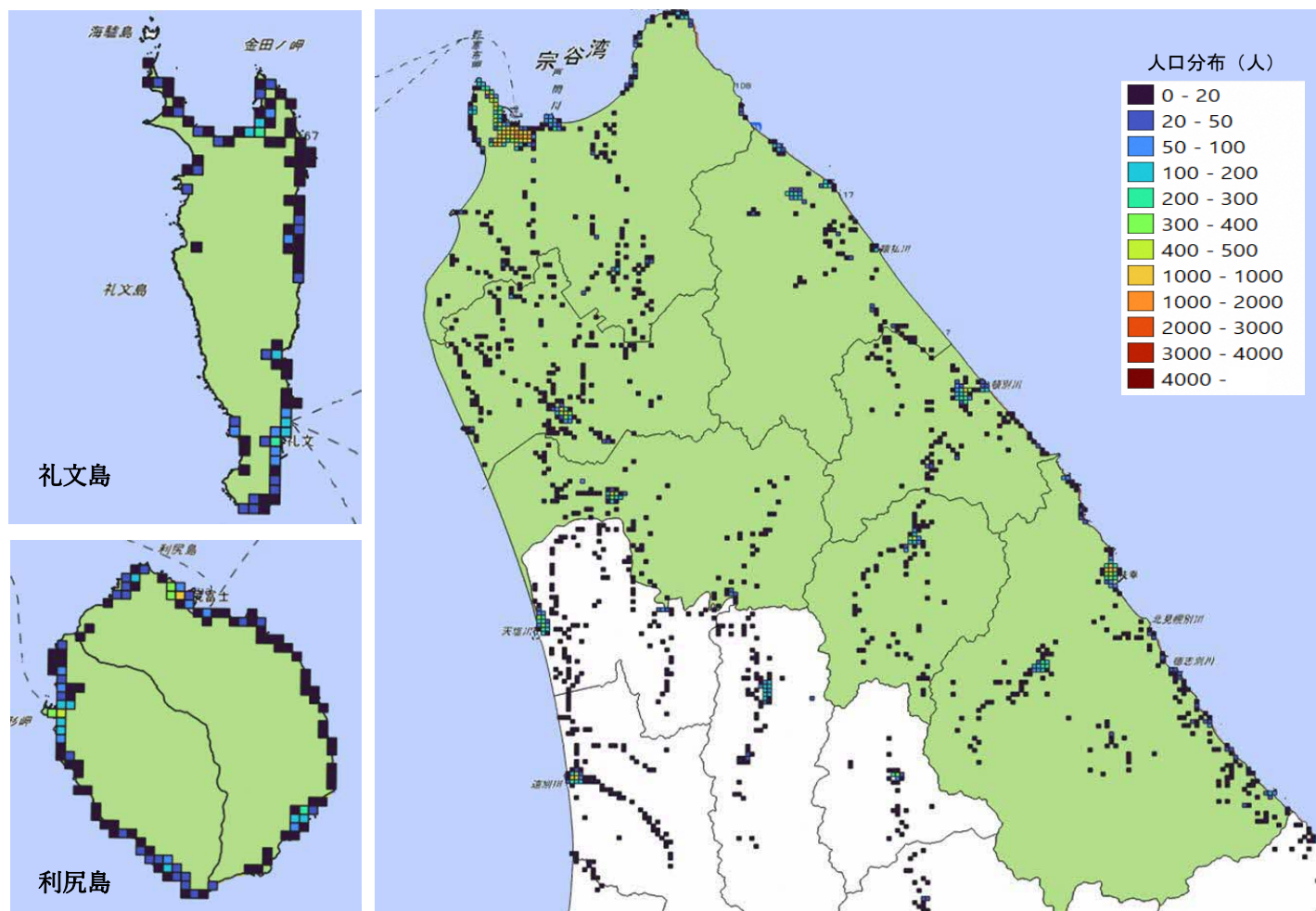


（出典：総務省統計局「令和 2 年国勢調査」

（<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>）をもとに作成）

図 3-7 市町村毎の人口（令和 2 年（2020 年））

500m メッシュ毎の人口分布をみると、生活利便施設が集積する各市町村の市街地に人口が集積しており、市街地以外においても広範囲にわたり住民が散居しています。



(出典：国土交通省 「国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口データ (H30 国政局推計)」 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>) をもとに作成)

図 3-8 本地域の人口分布 (平成 27 年 (2015 年))